

ジニデイス

Genidis



森月ナタリ・森月万夕美 共著
森月ナタリ 文
森月万夕美 絵・音楽

ジニデイス

Genidis

森月ナタリ・森月万夕美 共著

森月ナタリ 文

森月万夕美 絵・音楽

はる むかし べんり どうぐ じゆうじざい あやつ
遙か昔、便利な道具を自由自在に操る国、
ロンバール王国と、大自然だいしぜんと共存する神秘しんぴの
国、アカシア王国がありました。

二つの隣となり合う王国は深くふか 険しい山けわに隔て
られ、それぞれどくじ独自の文化をはってん発展させていま
した。



1 万能の実ジニディス

ここはロンバール王国。

ある日、国王夫妻に待望の赤ちゃんが生まれました。

坊やの名前は、クンツァイト。二人にとって初めての**はじ**のお子様です。

王国の人々も、王子の誕生を大変喜び、あちこちでお祝いの**いわまつせいだい**のお祭りが盛大に催されました。

クンツァイト坊やは、王妃様**おうひさま**似の目のくりっとしたかわいらしい赤ん坊**ぼう**でした。

ただ、体の弱い**たいしつ**体質**に**まで似てしまったのか、原因不明の**げんいんふめいこうねつ**高熱を出しては、人々を**しんぱい**心配させました。

そんなある日、王妃様**おうひさま**は、むずかって泣いている坊や**ぼう**を抱いて**だ**気晴らしに**きば**散歩**さんぽ**に出かけることにしました。

王妃様おうひさまがしばらく歩いていて、王宮おうきゅうの庭にわの片隅かたすみに大きな木を見つけました。

それは、ポリポリという木で、蔦つたが絡からまっています。

目を凝こらすと、何か小さな実みが一つだけ成なっています。

王妃様は、なぜかこの小さな実みに心を惹ひかれ、ポリポリの木のところへ行ってその実を優やさしく撫なでました。

すると、それまでグズって泣ないていたクンツァイト坊ぼうやがぴたっと泣きやみ、その実の方を見て、にこにこ笑わらうのです。

まるで誰だれかが坊やをあやしているかのよう
にです。

王妃様は不思議ふしぎに思いながら、
「可愛かわいらしい小さな蔦つたの実さん、私の坊やをあやしてくれたのね。どうもありがとう」と、話しかけました。

すると、その実^みがキラッと光^{はな}を放ったように見えました。

王妃^{おうひさま}様は、この小さな実をいっそう愛^{いと}おしく思い、その日^きから気^も持^{つた}ちのよいお天気の日には、ポリポリの木^{つた}の蔦^{つた}の実^{つた}のところ^にで坊^{ぼう}やとゆっくり過^すごすのが日^に課^{っか}になりました。



あとがき

この物語を書くことになったのは、フランス語の授業でカードゲームをしたことがきっかけです。引いた10枚のカードの単語を全て使って「昔々…」で始まるおとぎ話を作るものでした。10枚のカードとは、「怪物」「竜」「指輪」「本」「山」「夜」「隠れた」「とても強い」「失う」「見つかる」でした。二日くらいかけて、友人と二人で作った物語に、折角だから音楽をつけてもらおうということになって、当時、大学で音楽を勉強していた娘、万夕美に頼んだところ、誰も悪くないお話にならいいよということで、彼女の意見も取り入れながら書き進めていきました。一度は短い物語と各シーンの音楽が完成したのですが、もっと面白くできそうだったので、ゆっくり作り変えているうちに5年が過ぎていました。

カードゲームがきっかけで、偶然書くことになったこのお話ですが、出来るだけ明快で矛盾がないように心がけました。ですが、占いをする場面では、どうしても話がまとまらなかったのも、頭で考えても無駄だと思い、万夕美に自前のクリスタル72個で実際に占ってもらいました。すると、お話の状況にぴったりの回答が出たので、驚きつつ、なるほど、

そう言うことか、などと妙に合点がいき、占った結果をそのまま書くことにしました。

このように、この物語は、成り行きに任せた部分と、ところどころ彼女が体験したことなどを散りばめて思い出としてこの作品に込めた部分とからできています。

万夕美もわたしも、二人共納得のいく作品に仕上がったので、是非とも幅広い年齢層の方々に読んで頂きたいと思い、対象年齢を八歳くらいから大人までとし、小学三年生以上の漢字にふりがなを振り、字も大きめにしました。

挿絵は、万夕美に担当してもらいました。私がイメージを伝え、それを彼女が自己流で鈴鹿墨を使用してステンドグラス切り絵風に描いています。

また、子守唄と伝説の詩には彼女が音楽をつけてピアノ楽譜にして最終ページに載せていますので、弾いて楽しんで頂けると嬉しいです。

皆様にもこの物語が少しでも心に残るものになっているとすれば、これほど幸せなことはありません。

2023年2月 森月ナタリ